

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
10 月 大垣城 ① 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

なかなか行けない温泉

実りの秋 ローターも地区大会・IM 等大きな行事が目白押しです。14・15 日は伊賀で地区大会です。参加者の皆様、伊賀市は遠いですがよろしくお願ひします。そして来月は IM が美濃加茂で行われます。地区大会はご承知のように、お祭り、という面もありますが、クラブを超えたロータリーのビジョンについて学び、優れた他クラブの活動を知るとともに、思い出に残る親睦活動を深める絶好の機会です。私もこの実りの秋しっかり収穫できるようにしたいと思います。



今日は行きにくいといいいますか、たどり着きにくい温泉についてお話しします。

ト伝(ボクデン)の湯 上高地の入り口 釜トンネルに向かって左隣にあります。バスや車の窓から見るとことができます。よく見る割にはどうやって行くのか、悩まれたことがありませんか。安房峠を少し上ったところにある「中の湯旅館」が経営しています。車を駐車するところがないので安房峠の道路に置くことになります。カギを釜トンネル手前にある売店で受け取ります。一組ごと入るので前の組がお風呂から出てカギをこの売店へ戻した時に鍵を受け取って入ります。一応 30 分が制限時間です。

ドアを開けてから階段を下の方へ下っていきます。いわば洞窟風呂のようになっています。入ってみれば幻想的なお風呂です。行くのが大変、秘湯と言うにふさわしい温泉です。いわば話のタネになるような温泉です。名前の由来は戦国時代の剣豪、塚原ト伝がこの地で修行したときにこの湯に入ったと言う説と、単にこの温泉場を作った人が塚原ト伝のことが好きだったので名前を付けただけと言う説と、諸説あるみたいです。

他になかなか行けぬ温泉として上高地にある温泉を上げることが出来ます。上高地では景色に目を奪われ、温泉に入ることもないと思います。バスかタクシーに乗り大正池で下車し帝国ホテルの方へ歩き、更に梓川を渡ります。川の西側に二軒温泉のあるホテルが並んでいます。向かって右側が上高地ルミエスタホテル(旧 上高地清水屋ホテル)左側が上高地温泉ホテルです。ルミエスタホテルは数年前に松本電鉄が経営を肩代わりしました。いささか高級感ある旅館です。もう一つは上高地温泉ホテルです。この温泉はいくつかの源泉が引いてあり、暑い湯とぬるい湯とがあり、ぬるい湯は五右衛門風呂のようになっています。お風呂は内風呂、露天風呂とも結構広くてゆったり入ることが出来ました。温泉ホテルと名前を付けているくらいですから、温泉が売りです。満足できるお風呂でした。

このト伝の湯と上高地内の二つの温泉は、たどり着くのが難しい温泉、入る機会が少ない温泉ですので、よけい思い出に残る温泉です。話のタネに是非行っていただければいいと思います。

<幹事報告>

<受贈誌>

米山記念奨学会(寄付マニュアル、2016 年度事業報告書、2016 年度決算報告、ハイライトよねやま 211)不破 RC (会報)、(株)和光(ロータリーカタログ)

<出席報告>

| 区分 | 出席 | Make-Up | 出席者数 | 会員数 | 出席率 |
|-----|------|---------|------|------|--------|
| 前々回 | 29 名 | 3 名 | 32 名 | 40 名 | 80.00% |
| 本日 | 31 名 | — | 31 名 | 40 名 | 77.50% |

<本日のプログラム>

米山奨学委員会

委員長 平 義孝

本日の例会は、卓話を国際ロータリー第 2630 地区米山記念奨学部門 村瀬祐治 委員長にお願ひいたしました。

大変多忙の所快く引き受けて頂きありがとうございます。よろしくお願ひ致します。



『米山奨学事業の使命』

国際ロータリー第 2630 地区米山記念奨学部門委員長 村瀬 祐治様
ロータリー米山記念奨学事業の使命は、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時に、カウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることにあります。

例会報告

●事業推進

- ① 世話クラブを引き受けて 奨学生を育てる
- ② 寄付をする

・ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団であり、財源はすべて会員の寄付で成り立っています。日本独自の事業ですが、国際ロータリーからも国内全 34 地区の多地区合同活動として認められています。1967 年に財団法人を設立し、2012 年 1 月には公益財団法人に移行しました。

・支援の対象は外国人留学生

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2016 年 4 月採用の奨学生数は全国で 740 人（枠）と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界 124 の国と地域からの留学生 1 万 9,197 人を支援しています（2016 年 7 月現在）。

・最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度

その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブ「世話クラブ」が選ばれ、会員の 1 人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月 1 回、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。

・5年に1回 世話クラブを受けて頂く

地区内 76RC があり奨学生は毎年約 15 名 地理的・会員数など関係なく 5 年に 1 回世話クラブをお願いします。

2017 年 11 月 11 日に 次期 世話クラブ・カウンセラー説明会が開催されます。

・米山寄付金の現状について

寄付金には「普通寄付金」と「特別寄付金」の 2 種類があります。いずれも使い道は同じです。

今期の寄付額の目標としては、普通寄付+特別寄付の合額を 6,000 円以上になるようにお願いしております。

特別寄付については、年間を通していつでもできます また 税制上の優遇処置と表彰制度があります。（申込資料）

奨学金の種類

1. 学部課程 10 万円（月額）
2. 修士課程 14 万円（月額）
3. 博士課程 14 万円（月額）

・奨学生選出の基準

- 選考基準 × お金に困っている
- × 日本語が堪能
 - × 勉強ひとすじ成績優秀
 - × 珍しい国籍

奨学生を選ぶ基準ですが、米山奨学金は、経済的に困っているから支援するものではありません。また、国籍で判断もしていません。日本語が上手なだけでも、成績が優秀なだけでも、合格できません。

米山奨学事業の使命は、将来、日本と母国との懸け橋となる優秀な人材を育成することです。その資質がある留学生を、全国共通の評価項目にしたがって、公平に選考しています。

「学業」・「異文化理解への柔軟性」・「コミュニケーション能力」などを総合的に判断し、公平に選考しています。

・奨学生に中国人が多いのは

| 今期国別 | 奨学生内訳 | 14 名 |
|------|-------|------|
| ① | 中国国籍 | 8 名 |
| ② | ベトナム | 3 名 |
| ③ | ネパール | 1 名 |
| ④ | ラオス | 1 名 |
| ⑤ | 韓国 | 1 名 |

中国籍の奨学生率 58%、全国 34 地区の中国籍の奨学生 40%。
選出委員会にて 次期は 40%になるように選考いたします。

・指定校制度について

（今期 14 名採用 次期 16 名採用）

- ① 岐阜大学 4 名
- ② 三重大学 4 名
- ③ 四日市大学 2 名
- ④ 南山大学 2 名（地区外）
- ⑤ 鈴鹿大学 1 名
- ⑥ 皇學館大學 1 名

次期への取組：岐阜地区・三重地区には留学生受け入れ 23 校、6 月に学校説明会を開催して広く募集します。

・奨学生が例会訪問して卓話を行っております

今年度地区 76RC のうち 38RC へ奨学生が例会卓話に訪問しております。奨学生の日本での研究内容・将来の夢・母国のことなどお聞きして、米山奨学事業を理解して頂いております。

・ハラスメントの対応

米山記念奨学生は、全国 34 地区で毎年 780 人を受け入れて事業を行っており、第 2630 地区では 14 名（女性 6 名、男性 8 名）をお世話クラブへお願いしております。

ハラスメントの被害については、各地区より報告があり第 2630 地区においても対応をしていきます。

危機管理とは 想定される危機に対する体制や対応策を検討し、「リスクマネジメント」とその危機による被害を最小限に食い止める「クライシスマネジメント」に分かれます。

被害に遭った学生の心のケア「アフターケア」も重要です

例会報告

<ニコニコボックス>

●国際ロータリー第2630地区米山記念奨学部門委員長 村瀬 祐治さん
平素より米山記念奨学会にご理解・ご支援を頂きありがとうございます。本日、米山奨学の卓話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

国際ロータリー第 2630 地区米山記念奨学部門委員長 村瀬 祐治さん、本日はスピーチよろしくお願いいたします。楽しいお話し楽しみにしています。

●平 義孝さん、小森 丈一さん

本日の例会は、卓話を国際ロータリー第 2630 地区米山記念奨学部門 村瀬 祐治 委員長にお願いいたしました。大変多忙の所快く引き受けて頂きありがとうございます。よろしくお願いいたします。

●伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん、堺 和信さん、田中 正躬さん、黒木 正人さん、松川 英明さん、萱垣 敬慈さん

本日のゲスト国際ロータリー第2630地区米山記念奨学部門委員長 村瀬 祐治 様のご来訪を心より歓迎いたします。

●挾土 貞吉さん

去る 9 日(日)ビックアリーナで行われた全飛少年剣道大会で小 5、中 1 の孫二人が個人優勝し、団体でも小 5 男子は桐生道場が優勝しました。中山中女子は惜しくも準優勝でしたが活躍していましたので、褒美につや本のうな丼を家族 7 人でおいしく食べて来ました。この所の政治家や大企業のお偉方様にも武道精「礼節」を持って「世の為、人の為」働いて頂きたいと剣道の応援をしながら思いました。

●塚本 直人さん

秋の深まりを感じる毎日です。今週、火・水の 2 日間、仕事で伊勢・志摩に行って来ました。昨年のサミットで使用された岡田賛三さんの会社のテーブルを見たり、伊勢神宮にも参拝できありがたかったです。明日の地区大会でも三重に行けます。とても楽しみです。米澤会長・鴻野幹事、よろしくお願いいたします。

●田近 毅さん

12 年前より春・秋に行っている「ふれあい寄席」を 11 月 5 日(日)夜に行います。お好きな人はぜひお運びください。お代は 3,000 円です。阪下、下屋、塚本、田近よりお買い求め下さい。

●伊藤 松寿さん、田中 武さん、下屋 勝比古さん、井上 正さん、田中 晶洋さん、山下 直哉さん、住田 泰典さん、高桑 光範さん、大前 克秀さん

派遣交換学生、萱垣杏花さんから近況報告が届きました。

派遣交換留学生 萱垣 杏花さん 近況報告

作成日 2017 年 10 月 2 日

ロータリーD9670 での二度目のオリエンテーションがありました。

一度目にあつたときよりも皆仲良く関わることができ、友達もさらに増えました。

また、昨年日本にロータリーの留学生として留学してきていた、ネイサン・ターナー君と会うこともでき、日本についてたくさん語り合いました。

残念なことに、今年度は日本への留学生は私のいる D9670 からはいませんが、その分私が日本の認知度を上げようと思います!!

オーストラリアのお菓子、歯の形をしたマシュマロです



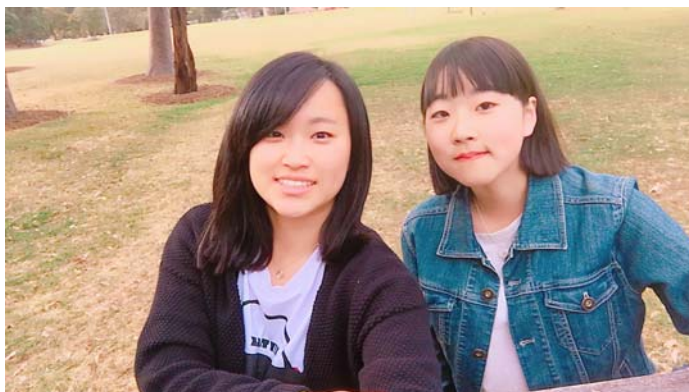
インバウンドの生徒達と国旗を持って写真を撮りました



また、ロータリーとは別の留学制度でオーストラリアに三ヶ月来ていた、北海道のなつみという友達があります。

私のホストファミリーがとてもいい人達で、私の家にお泊まりさせてくれました。

あと二週間しかここにはいないのですが、とても良い友達を持つことができました。



ロータリー：変化をもたらす